

2004年9月中間期 決算説明資料

2004年10月25日
信越化学工業株式会社

見通しに関する注記事項

当資料に記載の業績見通しは、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

目

次

(連結決算)

・中間業績の概要 (連結・単独).....	1頁
・中間決算の主要項目 (連結・単独).....	2頁
・セグメント別売上高・営業利益.....	3頁
・有機・無機化学品事業の推移・現況.....	4頁
・電子材料事業の推移・現況.....	5頁
・機能材料その他事業の推移・現況.....	6頁
・シンテック社の業績概要.....	7頁
・信越半導体グループの業績概要.....	8頁
・比較損益計算書.....	9頁
・比較貸借対照表.....	10頁
・キャッシュフロー計算書.....	11頁
・2005年3月期 (年間)業績予想 (連結・単独).....	12頁

(単独決算)

・比較損益計算書.....	13頁
・比較貸借対照表.....	14頁
・部門別売上高比較.....	15頁

中間業績の概要（連結・単独）

	連 結			単 独			連単倍率	
	2003年 9月期	2004年 9月期	増 減	2003年 9月期	2004年 9月期	増 減	2003年 9月期	2004年 9月期
売 上 高	4,076	4,685	(15.0%) 609	2,383	2,561	(7.5%) 178	1.71	1.83
営 業 利 益	639	768	(20.2%) 129	287	316	(10.1%) 29	2.23	2.43
経 常 利 益	630	758	(20.3%) 128	290	310	(7.0%) 20	2.17	2.44
中 間 純 利 益	377	465	(23.1%) 88	178	195	(9.5%) 17	2.12	2.38
総 資 産	13,469	14,332	863	6,980	7,570	590	1.93	1.89
株 主 資 本	8,919	9,477	558	5,237	5,626	389	1.70	1.68
株主資本比率	66.2%	66.1%	0.1ポイント	75.0%	74.3%	0.7ポイント		
1株当たり								
中間純利益	89.78円	110.37円	20.59円	42.44円	46.41円	3.97円		
株 主 資 本	2,121円	2,238円	117円	1,246円	1,329円	83円		
中間配当金	/	/	/	8.0円	10.0円	2円増配		
R O E (半 年)	4.3%	5.0%	0.7ポイント	3.5%	3.5%	0.0ポイント		
R O A (半 年)	4.7%	5.4%	0.7ポイント	4.2%	4.1%	0.1ポイント		

(注) ROAは総資本経常利益率。

中間決算の主要項目（連結・単独）

(億円)

	連 結		単 独	
	2003年 9月期	2004年 9月期	2003年 9月期	2004年 9月期
設 備 投 資 額	408	529	105	88
減 価 償 却 額	342	414	92	93
有 利 子 負 債 残 高	1,490	1,331	481	430
金 融 収 支 (益)	1	5	20	23
研 究 費	122	132	74	82
期 末 従 業 員 数	17,044人	18,177人	2,608人	2,536人
為替レート :1-6月平均	118.7円	108.5円	-	-
(US\$) 4-9月平均	118.0円	109.9円	118.0円	109.9円

(注) 1. 2004年 9月期 (連結)設備投資額、減価償却費の内訳

	<u>設備投資額</u>	<u>減価償却費</u>
	億円	億円
有機 無機化学品	129	115
電子材料	369	252
機能材料その他	32	47

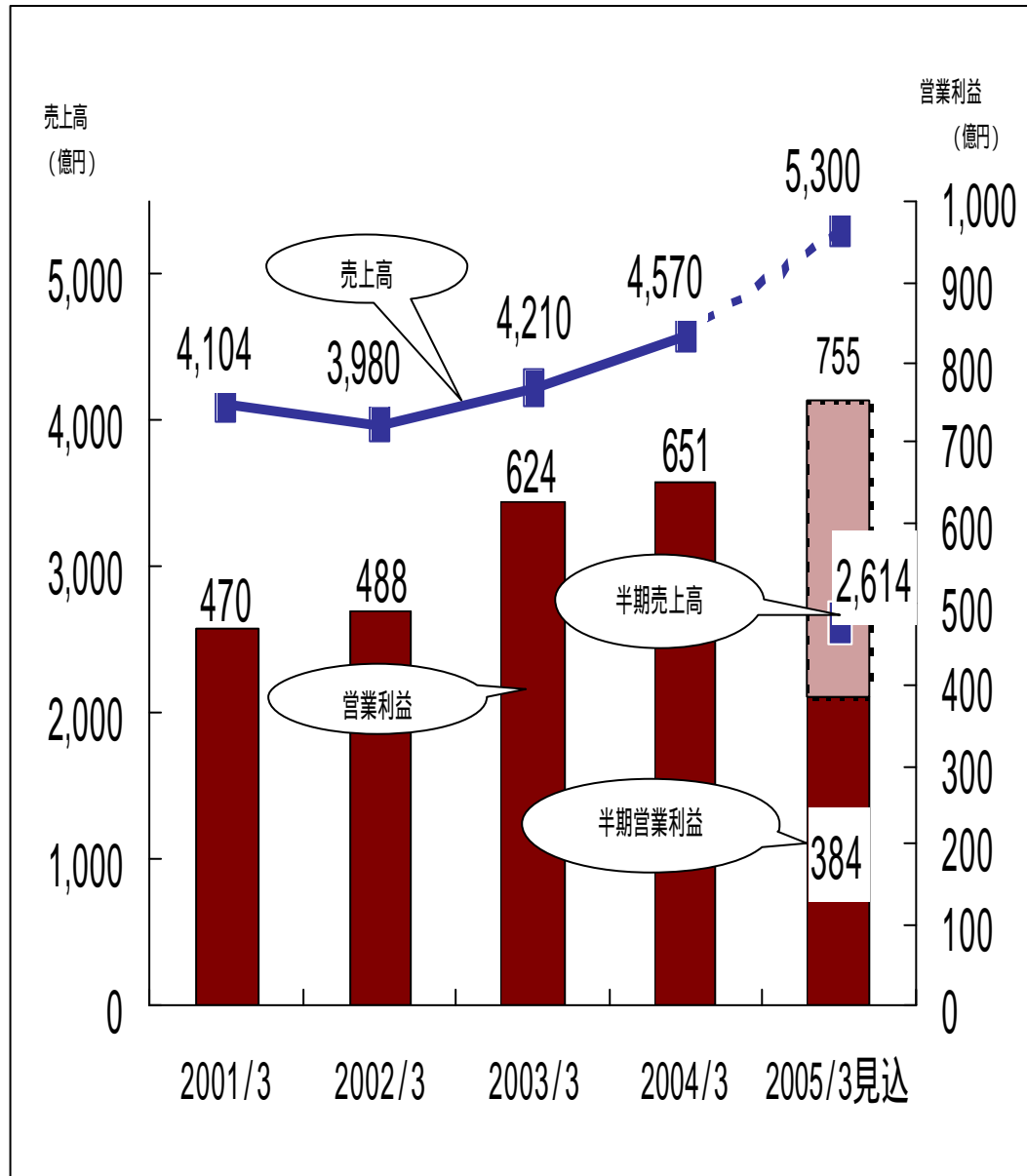
2. 1-6月平均の為替レートは、海外子会社の損益を連結する際に使用。

セグメント別売上高・営業利益(連結)

(億円)

	売上高			営業利益		
	2003年 9月期	2004年 9月期	増減	2003年 9月期	2004年 9月期	増減
有機・無機化学品	2,245	2,614	(16.4%) 369	332	384	(15.8%) 52
塩ビ系	1,256	1,397	141	122	159	37
シリコン系	669	737	68	139	140	1
その他	320	480	160	71	85	14
電子材料	1,270	1,508	(18.7%) 238	215	275	(27.7%) 60
半導体シリコン	1,040	1,258	218	180	233	53
その他	230	250	20	35	42	7
機能材料その他	561	563	(0.4%) 2	91	109	(19.3%) 18
合成石英	128	141	13	43	58	15
希土類磁石、 その他機能材料	124	138	14	26	28	2
その他	309	284	25	22	23	1
消去	-	-	-	1	0	1
合計	4,076	4,685	(15.0%) 609	639	768	(20.2%) 129

有機・無機化学品事業の推移・現況（連結）



塩ビ

当社が主力を置く米国市場において、高水準の住宅建設により需要が堅調に推移し、原油・天然ガス等の基礎原料価格が高騰したこともあり、販売価格は上昇した。

シンテック社は、市況動向を的確に捉えた営業活動を行った結果、上半期として過去最高の売上高と営業利益を達成した。

オランダのシンエツPVC社は欧州における需要が堅調で、売上を伸長させた。

国内塩ビ事業は、中国での旺盛な需要を受け輸出が好調だったことに加え、前期末に行った国内価格改定が奏効したことにより、売上は伸長した。

これらの結果、塩ビ事業は売上を順調に伸ばし、営業利益を大きく増加させることが出来た。

シリコーン

国内販売は電機・電子、自動車、建材、化粧品向けが好調だったほか、海外でも中国を中心とするアジアで売上が増加した。タイ工場も今期から生産・出荷を開始し、信越ポリマー社のシリコーン関連加工製品の売上も順調に推移した。

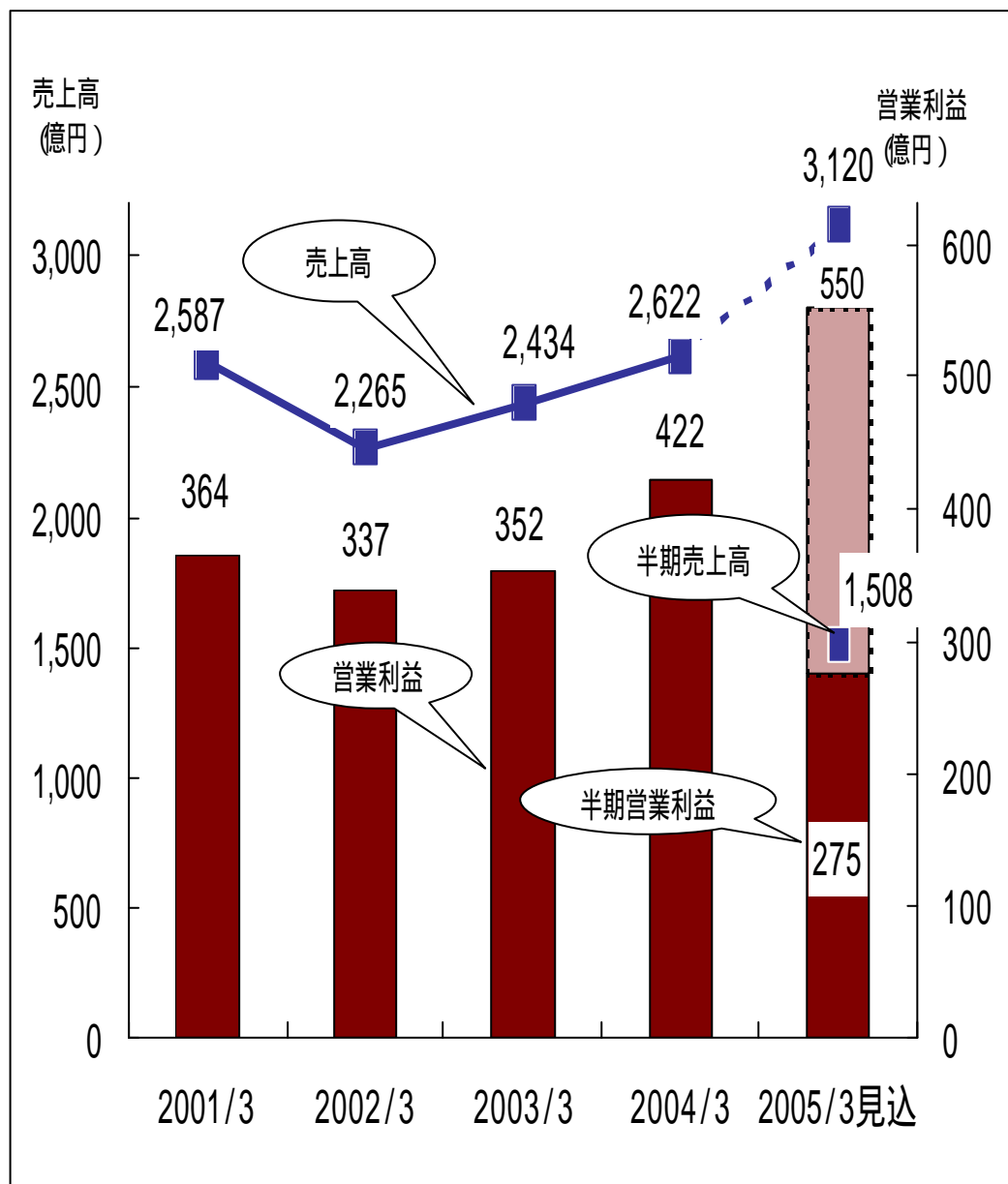
セルロース

建材・自動車、医薬向けを中心に堅調で、昨年末に買収したドイツのSEタイロース社も順調に推移し、業績に寄与した。

(注)海外子会社は12月決算のため1～6月期を算入。

* 予想の数字については、本資料表紙の「見通しに関する注記事項」をご覧ください。

電子材料事業の推移・現況（連結）



半導体シリコン

パソコン、携帯電話やデジタル家電向けの需要拡大に伴い、200mmウェハーのみならず150mm以下の小口径ウェハーも高水準の出荷が続いた。また、増産投資を行ってきている最先端300mmウェハーも大きく出荷を伸ばしたほか、SOウェハー、熱処理ウェハー等の特殊ウェハーも順調に推移した。

この結果、半導体シリコン事業は売上、営業利益とも大きく増加した。

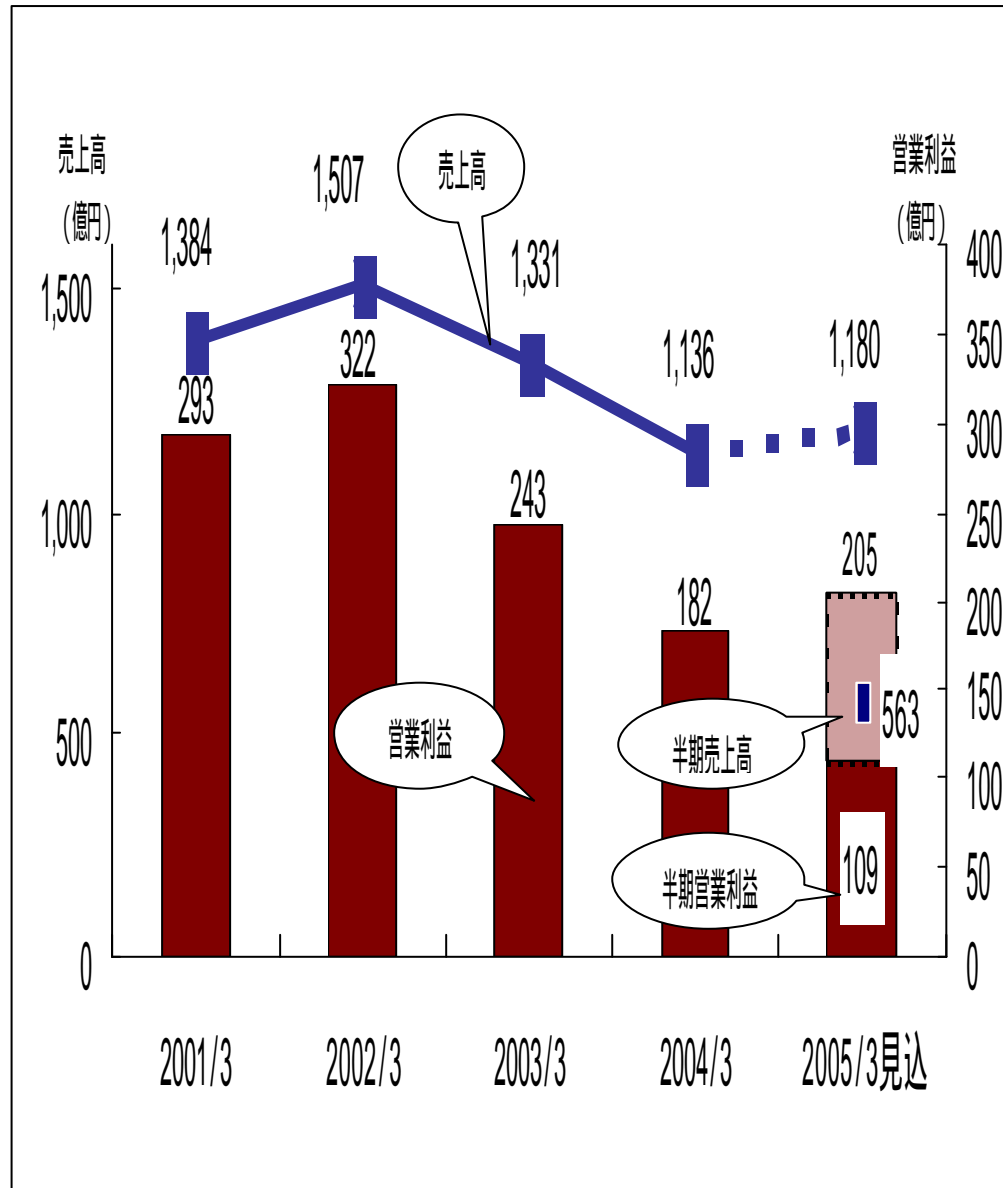
電子産業用希土類磁石

パソコン用、サーバー用、映像記録用に加え、携帯音楽プレーヤー用ハードディスクドライブ向けの出荷が順調だった。

電子産業用有機材料、フォトレジストは半導体デバイス産業の好調を受け、売上を伸ばした。

* 予想の数字については、本資料表紙の「見通しに関する注記事項」をご覧ください。

機能材料その他事業の推移・現況（連結）



合成石英

光ファイバー用プリフォームの需要は引き続き低迷したが、液晶パネルの製造時に使用される大型マスク基板は高水準の出荷が続いた。

この結果、合成石英事業の売上と営業利益は伸長した。

希土類磁石、レア・アース

希土類磁石は、エアコン向け、FA機器、自動車向けを中心に堅調だった。レア・アースは蛍光体用の売上を伸ばした。

* 予想の数字については、本資料表紙の「見通しに関する注記事項」をご覧ください。

シンテック社の業績概要

Shintech Incorporated

	2003年 6月期		2004年 6月期	
	百万US\$	億 円	百万US\$	億 円
売 上 高	693	823	859	932
経 常 利 益	110	130	130	141
中 間 純 利 益	73	86	86	93
純 資 産	1,469	1,760	1,616	1,753
総 資 産	1,741	2,086	1,902	2,062

- ・米国内の旺盛な住宅投資等に牽引され、米国の塩ビ需要は上半期を通して堅調に推移した。また、原油・天然ガス等の基礎原料価格が高騰したこともあり、塩ビの販売価格は1月から6月まで毎月上昇した。
- ・今年の10月に操業開始30年を迎えたシンテック社は、米国の堅調な塩ビ需要に応え、また世界中で広い顧客を有している強みを生かしながら市況を正確に見据えた販売を行い、テキサスとルイジアナの工場で効率的かつ高い水準で稼動を継続した。
- ・この結果、半期として過去最高益を達成した。

信越半導体グループの業績概要

信越半導体グループ〔連結業績〕

(信越半導体・SEHアメリカ・SEHマレーシア・SEHヨーロッパ・SEH台湾)

	2003年 9月期 億円	2004年 9月期 億円
売上高	998	1,222
経常利益	125	181
中間純利益	77	117
純資産	1,293	1,387
総資産	3,385	3,460

- ・ 200mmウェハ－はパーソナルコンピュータやデジタル家電向等の幅広い分野の需要増大を受け、高い水準の生産と出荷が続いた。
- ・ 300mmウェハ－も、需要の拡大を的確につかみ生産能力を増加させ出荷量は増加した。
- ・ 150mm以下の小口径も家電や自動車電装向デバイス需要が好調に推移した。また、SOIウェハ－、熱処理ウェハ－等の特殊ウェハ－も順調に推移した。
- ・ この結果、売上、経常利益ともに前期を大幅に上回る結果となった。

(注) 海外子会社は6月決算数値を連結

比較損益計算書（連結）

(億円)

	2003年 9月期	2004年 9月期	増 減	増減率
売 上 高	4,076	4,685	609	15.0%
売上原価	3,002	3,429	427	
販売費・一般管理費	435	489	54	
営 業 利 益	639	768	129	20.2%
営業外損益	8	10	2	
経常利益(税金等調整前中間純利益)	630	758	128	20.3%
法人税・住民税・事業税	242	278	36	
少数株主利益(減算)	11	15	4	
中間純利益	377	465	88	23.1%

比較貸借対照表 (連結)

(億円)

	2004年 3月末	2004年 9月末	前期末比		2004年 3月末	2004年 9月末	前期末比
流動資産	<u>7,305</u>	<u>7,475</u>	<u>170</u>	流動負債	<u>3,217</u>	<u>3,364</u>	<u>147</u>
現金・預金	2,103	2,184	81	支払手形・買掛金	1,070	1,236	166
受取手形・売掛金	2,220	2,414	194	短期借入金	583	387	196
有価証券	1,312	1,130	182	社債・転換社債	80	116	36
たな卸資産	1,177	1,182	5	未払金・未払費用	1,096	1,256	160
繰延税金資産	227	240	13	未払法人税等	295	286	9
その他	266	325	59	その他	93	83	10
				固定負債	<u>1,372</u>	<u>1,215</u>	<u>157</u>
固定資産	<u>6,557</u>	<u>6,857</u>	<u>300</u>	社債・転換社債	411	292	119
有形固定資産	<u>4,349</u>	<u>4,454</u>	<u>105</u>	長期借入金	558	536	22
建物・構築物	1,534	1,542	8	繰延税金負債	331	307	24
機械装置・運搬具	2,009	2,092	83	退職給付引当金	60	67	7
その他	807	820	13	その他	12	13	1
無形固定資産	<u>244</u>	<u>248</u>	<u>4</u>	負債合計	4,590	4,579	11
投資その他の資産	<u>1,964</u>	<u>2,155</u>	<u>191</u>	少数株主持分	265	276	11
投資有価証券	1,715	1,900	185	資本金	1,105	1,136	31
繰延税金資産	130	138	8	資本剰余金	1,193	1,224	31
その他	119	117	2	利益剰余金	6,950	7,378	428
				その他有価証券評価差額金	119	99	20
				為替換算調整勘定	267	248	19
				自己株式	92	112	20
				資本合計	9,007	9,477	470
資産合計	13,862	14,332	470	負債・少数株主・資本合計	13,862	14,332	470

キャッシュフロー計算書 (連結)

(億円)

	2003年 9月期	2004年 9月期	増 減
営業活動によるキャッシュフロー			
中間純利益	377	465	88
減価償却費	342	414	72
その他	37	38	75
計	682	917	235
投資活動によるキャッシュフロー			
設備投資支出	330	494	164
金融債ほか有価証券増加額	285	179	106
その他	91	18	109
計	524	691	167
財務活動によるキャッシュフロー			
社債・借入金減少額	215	242	27
配当金支払額	29	34	5
その他	6	24	18
計	250	300	50
換算差額ほか	18	7	11
現金・現金同等物増減額	74	67	7
現金・現金同等物残高	2,950	2,863	87
有利子負債残高	1,490	1,331	159

2005年3月期〔年間〕業績予想（連結・単独）

	連 結		単 独	
	億円	前期比 (%)	億円	前期比 (%)
売 上 高	9,600	15.3	5,200	7.8
営 業 利 益	1,510	20.2	620	10.6
経 常 利 益	1,510	20.2	620	6.8
当 期 純 利 益	920	23.0	390	12.3
1株当たり当期純利益	216.50円	39.25円	91.77円	9.52円
1株当たり年間配当金	20.00円	4円増配		

*業績予想については、本資料表紙の「見通しに関する注記事項」をご覧ください。

比較損益計算書（単独）

	(億円)			
	2003年 9月期	2004年 9月期	増 減	増減率
売 上 高	2,383	2,561	178	7.5%
売上原価	1,945	2,085	140	
販売費・一般管理費	151	160	9	
営 業 利 益	287	316	29	10.1%
営業外損益	3	5	8	
経常利益 (税引前中間純利益)	290	310	20	7.0%
法人税・住民税・事業税	112	115	3	
中間純利益	178	195	17	9.5%

比較貸借対照表（単独）

(億円)

	2004年 3月末	2004年 9月末	前期末比		2004年 3月末	2004年 9月末	前期末比
流動資産	<u>4,298</u>	<u>4,308</u>	<u>10</u>	流動負債	<u>1,730</u>	<u>1,721</u>	<u>9</u>
現金・預金	1,353	1,327	26	支払手形・買掛金	902	969	67
受取手形・売掛金	1,524	1,588	64	短期借入金	310	164	146
有価証券	473	435	38	一年内償還転換社債	-	116	116
たな卸資産	378	363	15	未払金・未払費用	318	323	5
短期貸付金	306	284	22	未払法人税等	177	137	40
その他	264	312	48	その他	23	12	11
固定資産	<u>3,290</u>	<u>3,262</u>	<u>28</u>	固定負債	<u>416</u>	<u>223</u>	<u>193</u>
有形固定資産	<u>1,114</u>	<u>1,093</u>	<u>21</u>	転換社債	178	-	178
建物・構築物	364	360	4	長期借入金	150	150	0
機械装置・車両運搬具	479	473	6	その他	88	73	15
その他	271	260	11	負債合計	<u>2,146</u>	<u>1,944</u>	<u>202</u>
無形固定資産	<u>12</u>	<u>10</u>	<u>2</u>	資本金	1,105	1,136	31
投資その他の資産	<u>2,164</u>	<u>2,158</u>	<u>6</u>	資本剰余金	1,119	1,150	31
投資有価証券	1,159	1,153	6	利益剰余金	3,206	3,366	160
関係会社株式	954	954	0	その他有価証券評価差額金	105	87	18
その他	51	50	1	自己株式	92	112	20
				資本合計	<u>5,443</u>	<u>5,626</u>	<u>183</u>
資産合計	<u>7,588</u>	<u>7,570</u>	<u>18</u>	負債・資本合計	<u>7,588</u>	<u>7,570</u>	<u>18</u>

部門別売上高比較（単独）

(億円)

部 門	2003年 9月期	2004年 9月期	増 減
有機・無機化学品部門	863	933	70
電子材料部門	1,038	1,182	144
機能材料部門	279	289	10
国際事業部門	204	156	48
合 計	2,383	2,561	178
〔 参 考 〕 輸 出 合 計	(43%) 1,024	(41%) 1,059	35

()内は輸出比率を示す。

トピックス

- 2003年11月 クラリアント社(本社 :スイス)のセルロース事業買収を発表。
- 2003年11月 シンエツPVC社(オランダ)が、塩化ビニルモノマーと塩化ビニル樹脂の生産能力を増強。
- 2003年12月 塩化ビニル樹脂の日本国内での商慣行変更と値上げを発表。
- 2003年12月 クラリアント社のセルロース事業の買収手続きが完了、SEタイロース社(ドイツ)としてスタート。
- 2004年3月 信越半導体(株)が、300mmシリコンウェハーの生産能力を、2004年末までに現在の50%増の月産30万枚へ増強する計画を発表。
- 2004年3月 シンエツ・シリコーンズ・タイランド社(タイ)が、シリコーンオイル製品およびシリコーンエラストマー製品の商業生産を開始。
- 2004年4月 アジア・シリコーンズ・モノマー社(タイ)が、シリコーン製品の中間原料の商業生産を開始。
- 2004年4月 信越ポリマー(株)が、生産子会社のシンエツ・ポリマー・ハンガリー社で、主力製品の携帯電話や電装用キーパッドの生産を開始。
- 2004年7月 信越ポリマー(株)が、シンセン(中国)でのOEMによる塩ビコンパウンドの生産を開始。
- 2004年8月 塩化ビニル樹脂製品の日本国内での再値上げを発表。
- 2004年8月 セルロース誘導体製品の日本国内での値上げを発表。
- 2004年9月 シリコーン樹脂製品の日本国内での値上げを発表。
- 2004年10月 半導体封止用エポキシモールドディングコンパウンドの値上げを発表。
- 2004年10月 シンテック社が操業開始30周年を迎える。